

荒川を考える葛飾区民会議

●開催日

平成25年1月22日(火)
午後2時00分から午後4時00分

●開催場所

葛飾区男女平等推進センター
(ウィメンズパル) 視聴覚室

●出席者

12名(全構成員:16名)

●議題

承認

1) 第6回議事概要(案)について
討議

1) 第8期区民会議(船上見学会も含めて)の活動の振り返り

2) 第9期区民会議の主な討議テーマについて
報告・確認

1) 第35回荒川の将来を考える協議会の報告
情報提供

1) 第9期区民会議委員の募集について
2) 葛飾あらかわ花いっぱい事業について

3) 中川護岸耐震化工事及び中川左右岸緑道公園
「中川テラス」の管理について

4) 生物多様性かつしか戦略の策定について



承認

第6回荒川を考える葛飾区民会議の議事概要(案)が承認されました。

討 議

<主な質問・意見等> (○：質問・意見等、●：質問に対する回答)

1) 第8期区民会議（船上見学会も含めて）の活動の振り返り

- 昨年9月に都立葛飾総合高校の文化祭で行われた葛飾区民大会議というのをJCNで見たが、区長を招いて、高校生達が方策まで全部考え出して、きちんとしたプレゼンテーションをしている。一般社会に出しても通用するようなやり方でやっている。
一方、こちらの会議は座談会風である。もう少しテーマを絞って、少しずつ解決していきなり、方策をプレゼンしていく事もよいのではないか。過去に四つ木の分科会が行われていたが、ちゃんと結論まで出した方がよかったと思えてならない。(一般委員)
- 一つのテーマを何回もやっていけば、何とかしたい、何とかしようと思えるので、それも良いと思う。(議長)
- 環境課としてもテーマに対して情報提供をしていき、目標に対して具体化していけるようになればよいと思っている。(行政委員)
- 公園課の立場としては、普段は陸から川を見ているが、今回の船上見学会では船から公園を見ることができた。第二菖蒲園から見るスカイツリーや、スカイツリーから葛飾区はどう見えるのだろうか、今後も皆さんの協力を得ながら、飾区の3公園でどんな活動が出来るかということを考えていきたい。(行政委員)
- 10月の船上見学会は非常に参考になった。(一般委員)
- 希望としては上流から、芝川とか水質浄化の現場も見たいかなと思う。(一般委員)
- 船上見学会とロックゲート見学会は参加できなくて残念であった。荒川は自然が多い大事な川なので、区民として気楽に、安心できる川になれば良いなと思い、意見を言うために参加した。ゴミやホームレス、環境の問題などの大きな問題が多いので、なかなか解決は難しいが、私は安心できる河川敷になれば良いと常に思っているので、小さなことでも解決していければよいと思っている。的を絞って一つでも実現できればと思う。
- 第8期から参加し、どういう会議なのか分からなかったが、皆さん時間がない中集まっているので、決定することは無いにしても、テーマを絞ってやった方がよいと思う。(一般委員)
- この会議の一番よいところは、いろいろなことの、いろいろな意見が出ることであり、これをよい方向にまとめていければよいと思う。(一般委員)
- 我々葛飾に住んでいる者としては、川の護岸や水門、排水機場などで守られていると、否が応でも感じている。住んでいない方は意外に認識が無いと思うので、低地の葛飾に住んでいる者として、もっと皆さんに知っていただいた方が良いのではと思う。(一般委員)
- 東京都でいろいろと表彰をやっている。グループでちょこちょこやっている方が表彰されている。どういうふうな経緯で表彰されているのか。
今回ロックゲートの開門をくぐって、全部のルートを周ったなあという感じである。ありがとうございます。(一般委員)
- スポーツ事業について、私どもの主催事業としては、地域の方に参加していただいている、地区ロードレース大会や駅伝大会などがある。また、後援している事業もあり、そのようなことをどんどん情報提供していきたい。(行政委員)

- 荒川河川敷というのは膨大な敷地であり、これをもう少しうまく利用できないかと思う。荒川の上流と下流を船で見学できたのは非常に参考になった。（一般委員）
- 私は6、7、8期とお手伝いさせていただいたが、その間、河川敷がどのように変化したかというところ、下流方面の運動場、野球場、サッカー場、それから上流方面のブルーシートが集まっている所である。これをいつも見ていると、運動場では、子供達がリーダーの元、最後までゴミ一つ出さず使っている。一方上流部のブルーシートの方はゴミだらけで、せっかくクリーンエイドできれいにしたのに、活動の効果が無くなるので、何とか出来たらなと思う。

先日の船上見学会に参加して、東京湾の出口まで行った。葛飾の河川敷は、避難場所になっているのだが、1日、2日の長逗留になった場合、どうなってしまうのか、お台場の辺りに送ったらどうなるのかなどと思いながら乗っていた。葛飾までは小1時間かかるので、いざという時のことをもう少し考えていただければと思う。天災は忘れた頃にやってくるので、考えていただければと思う。

荒川のことは荒川下流河川事務所だけでは解決できないと思う。利根川・江戸川は距離が近いので、荒川の水をそちらに流すことも考えていただければと思う。

とにかく葛飾は水面下なので、なにかあったら水没してしまうので、よろしくお願ひします。（一般委員）

- 先日の船上見学会で、公園が近くにある船着場で休憩したが、ああいう公園を、今、葦のあるところに作れないかと思う。ああいうすばらしい公園があったら、堀切の船着場とつなげれば、利用する人が増えるのかなと思う。（一般委員）
- 自然を楽しむと同時に、コースを楽しむということも考えてはどうか。私も今まで思っていなかったが、高齢者が河川敷の公園に避難する際、急な坂があるなど非常にアクセスが悪い。木根川橋のところもそうだが、まずはアクセスの面をきちんとすることが大事ではないか。ゆるやかな坂であったり、階段でも歩幅に合った階段とすれば、河川敷を安全に使い、川のありがたみを感じられるようにすることが大事だと思う。（一般委員）

2) 第9期区民会議の主な討議テーマについて

- 荒川下流河川事務所として、このテーマでという指定はない。区民会議規約にも荒川に関する知識を深めるための学習や情報交換ということが書いてある。学習ということでは見学会など実践されている。また、情報交換という点では、事務所から情報提供と同時に区民会議の意見も事務所で共有している。以前議論にあった堀切菖蒲水門の上の部分の何かに使えないかというアイディアは、事務所で話したところ、「そういう空きスペースの活用は検討の余地がある。」ということにもなったので、情報交換は有効であると考えている。（荒下事務局）
- 菖蒲水門で会合が出来ればよいし、あそこはすごくよい場所で喫茶店があってもよいと思う。スカイツリーもよく見える。（議長）
- 毎日でなくてもよいので、知水資料館の分室という形で防災情報などを扱えば良いのではないか。（一般委員）
- 例えば防災関連のちょっとした資料を置いたり、防災資料館の出張分室としたり、そういうアイディアをまた持って帰って所内会議で話したいと思う。（荒下事務局）
- 上平井水門の近くに、荒川に逃げる道の一つ欲しい。水門は車椅子では絶対渡れない。水門の人に聞いたら、人は通さないと言っているのに、あの辺りに荒川に逃げる道がないと、どこに逃げていいかわからない。四ツ木橋まで行くか、大きい橋に行くか、とても大変だと思う。（一般委員）

- 葛飾区教育委員会の主催による、記録している会のリーダーの平島さんという、よく研究をしておられる方がいるが、そういう方をお呼びして、お話をしていただいたらどうか。（一般委員）
- 地震のときに河川敷に逃げると、津波が一番怖い。ただ、河川敷に逃げるにしても、段差があったりしてなかなか入りづらいところもある。（一般委員）
- 入ってもいいよというような信号を橋につけたらどうか。たったそれだけで、そこまで行けば引き返すということも出来る。（一般委員）
- 災害時の情報伝達という意味では、「行けば分かる」ということであり、一つのアイデアだと思う。（荒下事務局）
- 河川敷は地震の時は危険だという話もあるが、実際には地震が収まれば人は来ると思う。ただ、現実には使いものにならなくなると思う。仮設のトイレの設置が必要になる。
簡易浄水施設のようなものも現実的には必要になってくると思う。（一般委員）
- 中川と綾瀬川の水門のところに、小水力発電を建設して欲しい。いざというときに、発電機を持ってくるよりも、役に立つと思う。（一般委員）
- 防災や、環境、新しい何かを作るという課題もあり、第9期のテーマとして、前回このような話が出た、ということではよろしいですか。（議長）

報告・確認

1) 第35回荒川の将来を考える協議会の報告

- 資料2 説明。地区別計画の策定の承認、東京都低地河川活用推進協議会などについて説明。（荒下事務局）

情報提供

1) 第9期区民会議委員の募集について

- 第9期荒川を考える葛飾区民会議委員の募集および第9期荒川を考える葛飾区民会議の開催予定日について説明。（区事務局）
- 以前にも話があったと思うが、来年度からは体制を変えて行なうのではなかったのか。（一般委員）
- そのような提案をしたが、検討中で結論が出ていない。それまでは従来通りに実施したい。（荒下事務局）

2) 葛飾あらかわ花いっぱい事業について

- 荒川の3公園においての、葛飾あらかわ花いっぱい事業について説明。（行政委員）

3) 中川護岸耐震化工事及び中川左右岸緑道公園「中川テラス」の管理について

- 資料3 説明。中川護岸耐震化工事の進行状況および中川左右岸緑道公園拡張部「中川テラス」の管理と工事の進行状況について説明。（行政委員）

4) 生物多様性かつしか戦略の策定について

- 資料4 説明。生物多様性かつしか戦略の策定について、今後の予定と併せて説明。（行政委員）
- 次回のテーマだが、「葛飾あらかわ花いっぱい事業」の説明があったのだから、これについて取り上げてよいのではないか。（一般委員）

- 堀切から土手一杯に花を植えるという話を聞いている。菜の花の世話などは、ご近所の方にかえって負担になるのではないか。あまり長い範囲では大変ではないか。（一般委員）
- スカイツリーから見ると、荒川の土手というのはきれいに見えるのだが、実際に活動できるのは占用を受けている区の公園内に限られるので、協働範囲は限られてくる。出来る限り区でもやるようにして、皆さんと一緒にうまくできないかと考えている。種類も、一つは菜の花も考えている。江戸川の上流では、一面菜の花に覆われているという時季があり、それは特に水もやってはいない。自然のままで、極力手のかからない花の種類を選んでやっていこうと考えている。（行政委員）
- 今、区の方が自然のままでとの発言があったが、木根川橋の運動場から少し行ったところの川べりが、今は自然のままで、ゴミは流れ放題、葦も荒れ放題である。手入れはしないのか。（一般委員）
- ゴミ問題は課題だが、なかなか手が回らない状況である。（荒下事務局）